⑻	静岡工場	機能性検査装置	銀行券製造設備	機械装置	静岡県静岡市駿河区国吉田	—	平成25年３月	3,833,204円	1円	3,833,203円
⑼	彦根工場	雑屋	雑屋	建物	滋賀県彦根市東沼波町	—	平成24年10月	3,446,581円	3円	3,446,578円
		へい外	へい外	建物 構築物			平成24年10月 平成25年３月	630,099円	3円	630,096円
		空気調整設備外	空気調整設備外	建物 構築物			平成24年４月 平成24年７月	3,978,309円	4円	3,978,305円
		銀行券番号校正装置	銀行券製造設備	機械装置			平成24年６月	6,689,166円	1円	6,689,165円
		機能性検査装置		機械装置			平成25年３月	1,887,865円	1円	1,887,864円
		研磨機	研磨機	機械装置			平成25年３月	2,375,589円	1円	2,375,588円
⑽	岡山工場	警備係事務室	警備係事務室	建物 構築物	岡山県岡山市西大寺上	—	平成24年４月 平成24年５月 平成24年12月	45,890,186円	34円	45,890,152円
⑾	東京病院	病院	病院	建物 構築物 工具器具備品	東京都北区西ヶ原	—	（注１）	3,300,584,480円	—	—

（注１）　業務または事業の廃止を予定しておりますが、具体的な廃止の時期は未定であります。
（注２）　利用の廃止を予定しておりますが、具体的な廃止の時期は未定であります。
（注３）　印刷機能の移転を予定しておりますが、具体的な移転完了の時期は未定であります。
（注４）　償却資産は減損損失、非償却資産は損益外減損損失の見込額であります。

⑴　日原倉庫は、平成24年度中に業務の廃止を予定しているため、減損の兆候が認められます。
当該施設の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、業務の廃止の時期が未定のため、記載しておりません。なお、使用しなくなる日における帳簿価額の見込額については、平成23年度末の帳簿価額を記載しております。

⑵　各サービスセンターの施設は、平成24年度末までに業務の廃止を予定しているため、減損の兆候が認められます。
当該施設の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、業務の廃止の時期が確定しているものについては、「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。業務の廃止の時期が未定のものは、記載しておりません。なお、使用しなくなる日における帳簿価額の見込額については、平成23年度末の帳簿価額を記載しております。

⑶　各宿舎の施設は、平成25年度末までに利用の廃止を検討しているため、減損の兆候が認められます。
当該施設の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、利用の廃止の時期が未定のため、記載しておりません。なお、使用しなくなる日における帳簿価額の見込額については、平成23年度末の帳簿価額を記載しております。

⑷　研究所の試作銀行券印刷機は、老朽化しているため、平成24年９月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。
当該機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。

⑸　虎の門工場の工場外は、都内工場の再編により、印刷機能を滝野川工場へ移転することを予定しているため、減損の兆候が認められます。
当該施設の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、滝野川工場への移転完了の時期が未定のため、記載しておりません。なお、使用しなくなる日における帳簿価額の見込額については、平成23年度末の帳簿価額を記載しております。

⑹　滝野川工場の排気設備、火災警報設備外、銀行券番号校正装置２台、銀行券自動封包機、銀行券仕上機２台及び封包仕上機は、設備更新のため、平成24年６月、平成24年10月、平成25年２月、平成25年３月及び平成25年８月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。
それぞれの機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。

⑺　小田原工場の渡廊下、銀行券封包機、断裁機、機能性検査装置、へい及び門は、設備更新のため、平成24年６月、平成24年８月、平成24年12月、平成25年２月及び平成25年３月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。
それぞれの機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。